

浄源寺



本堂外観



本堂内陣

浄源寺縁起

当山の開基は、平家の士、曾我兄弟河津十郎祐成・五郎時致の末裔、河津三郎祐重出家して釋祐存と号し、室を安養庵と云い、浄土真宗に帰依したのに始まると伝えられ年代は不詳である。

文明三年（一四七二）火災により建物を焼失、九代釋善正のとき、慶長六年（一六〇一）西本願寺より本尊阿彌陀如来木仏と寺号を賜り、嵩月山浄源寺と号し堂宇を建立した。同十一年（一六〇六）参内して、後陽成天皇の勅により小僧都官に任ぜられた。是を中興開山の祖と云う。

本通記には宝曆四年（一七五四）武蔵岩槻浄源寺を掛所とす。又、文化年間の覚定伝記巻二には浄源寺は兼帯所の願い出をして、本山より許可されていると有り、東国十三ヶ国末寺帳には御兼帯所大岡主膳正殿領分岩槻城下浄源寺と有ります。又、境内墓所には旗本大岡興惣右衛門正成（一六四二）、正友（一六五八）の墓石があります。この大岡家は、幕末大奥最後の御年寄りとなつた、滝山（大岡権左衛門の娘）の生家であります。

現住職は、第二十四代であり、開基は不詳ながら、約六百五十年の間、法灯連綿とし、昭和五十九年十二月五日大谷光真（即如）御門主様御親修によりご巡教のご勝縁を頂きました。

又、平成四年・五年の二ヶ年をかけて新本堂が完成を致し、平成六年十一月六日、大谷光照（勝如）前門主様御親修のもと、本堂落成慶讃法要が盛大に厳修されました。



念仏報恩塔
宗祖親鸞聖人 750 回
大遠忌法要記念



縁起碑



親鸞聖人御像



親鸞聖人御幼少之像・歌碑

年間行事

- 定例法座 毎月第一土曜日 午後一時半より
- 御旧跡巡拝 妙好人を訪ねて 等の旅行会 毎月第三日曜日 午後一時半より
- 安穩朝市 毎月第三日曜日 九時より
- 修正会法要 毎年一月一日 午前〇時より
- 宗祖親鸞聖人報恩講法要 毎年十一月三日